

次の店舗の大規模小売店舗立地法第6条第2項の規定による届出がなされたので、同条第3項の規定において準用する同法第5条第3項の規定により縦覧に供します。

1 大規模小売店舗の名称及び所在地

新ゆりグリーンプラザ

川崎市麻生区白山四丁目1番3号

2 届出の年月日

令和8年9月25日

3 縦覧期間及び時間帯

令和8年10月2日から令和9年2月2日まで。

4 意見書

同法第8条第2項の規定により、生活環境保持の観点から意見を有する者は、意見書の提出により、これを述べることができます。

(1) 提出期限：令和9年2月2日

(2) 提出先：川崎市経済労働局観光・地域活力推進部
商業・サービス業振興担当

※受理年月日	令和8年9月25日
※受理番号	8収川経観地第226号
※備考	

変更届出書

令和8年9月25日

川崎市長 殿

氏名又は名称及び法人にあってはその代表者の氏名

氏 名 株式会社戸田不動産

代 表 者 代表取締役 戸田 学

住 所 東京都港区芝浦三丁目14番6号

〔届出代行者連絡先：担当者・所属・電話・FAX〕

株式会社エスパシオコンサルタント

環境企画部 松田 菜穂子

電 話 番 号 03-6734-9640

F A X 03-6222-2207

大規模小売店舗立地法第6条第2項の規定により、下記のとおり届け出ます。

1. 大規模小売店舗の名称及び所在地

- ・ 名 称 新ゆりグリーンプラザ
- ・ 所在地 川崎市麻生区白山四丁目1番3号

2. 変更しようとする事項

(1) 大規模小売店舗の運営方法に関する事項

① 大規模小売店舗において小売業を行う者の開店時刻及び閉店時刻 (変更前)

開店時刻	閉店時刻
午前8時00分	午後11時00分

(変更後)

開店時刻	閉店時刻
午前7時00分	午後11時00分

② 来客が駐車場を利用することができる時間帯

(変更前)

駐車場利用時間帯
午前7時00分～午後11時30分

(変更後)

駐車場利用時間帯
午前6時00分～午後11時30分

3. 変更年月日

令和8年11月10日

4. 変更する理由

営業計画変更のため。

1. 大規模小売店舗設置者の概要

(1) 氏名又は名称

建物設置者 株式会社戸田不動産
代表取締役 戸田 学

(2) 住所又は所在地

東京都港区芝浦三丁目 14 番 6 号

(3) 連絡先及び電話番号・FAX番号

担当者所属部署 株式会社西友 不動産開発本部 不動産部
担 当 者 名 山内 栞
電 話 番 号 03-6736-8594
F A X 番 号 03-5539-8619

(4) 届出代行者連絡先及び電話番号・FAX番号

担当者担当部署 株式会社エスパシオコンサルタント 環境企画部
担 当 者 名 松田 菜穂子
電 話 番 号 03-6734-9640
F A X 番 号 03-6222-2207

2. 店舗施設計画の概要

(1) 建物の名称及び所在地

名 称 新ゆりグリーンプラザ
所在地 川崎市麻生区白山四丁目 1 番 3 号

(2) 計画地の概要

① 敷地面積及び土地の所有形態

建物敷地	1,811 m ²	賃貸借契約
駐車場用地	1,362 m ²	共同利用
合計	3,173 m ²	

② 法令上の用途等

用途地域 : 近隣商業地域
指定容積率 : 200%
建ぺい率 : 80%

③ 街並みづくりの計画の有無とその内容

準防火地域

④ 現在の土地・建物の利用状況

商業施設営業中

(3) 計画地周辺の概要

① 立地環境

当該店舗は小田急小田原線「新百合ヶ丘駅」から南へ約 1.4km に位置しており、店舗周辺は集合住宅、公園が立地しております。用途地域は、店舗敷地が近隣商業地域、店舗周辺は第一種中高層住居専用地域に指定されています。

② 隣接地の用途現況

当該店舗の北側および西側はむじなが池公園、東側および南側は集合住宅が立地しております。

(4) 建物の構造及び規模

① 建物構造

店舗：鉄骨鉄筋コンクリート造 地下1階、地上3階

② 店舗面積の内訳

イ 建築面積 2,913 m²

ロ 延床面積 5,871 m²

ハ 店舗面積 1,518 m²

ニ 各階ごとの店舗面積（単位：m²）

階数	店舗面積	その他施設面積	延床面積
3階	—	774	774
2階	—	753	753
1階	60	1,271	1,331
地下1階	1,458	1,555	3,013
合計	1,518	4,353	5,871

※一部非物販店舗が運用しています。

※「その他施設面積」は非物販店舗面積およびバックヤード部分等の面積を計上しています。

※2階、3階は住宅となっております。

(5) その他施設計画と各施設面積

利用者が同一の附属施設	
飲食店	216 m ²
クリーニング	57 m ²
美容室	62 m ²
合計	335 m ²

利用者が異なる附属施設	
事務所	92 m ²
接骨院	65 m ²
学習塾	63 m ²
郵便局	150 m ²
合計	370 m ²

※上記ほか、空き区画があり、区画面積は31 m²です。

(6) 建築着工年月日及び完成予定年月日

変更による工事等はいたしません。

(7) 店舗施設計画に関する図面

建物位置図	別添図面 1 広域見取図
周辺見取図	別添図面 2 周辺見取図
建物配置図	別添図面 3 建物配置図及び1階平面図
各階平面図	別添図面 3 建物配置図及び1階平面図
	別添図面 4 地下1階平面図

3. 営業計画の概要

(1) 小売業者一覧表

No.	名称	代表者名	住所	店舗面積 (㎡)
1	株式会社西友	代表取締役 檜木野 仁司	東京都武蔵野市吉祥寺本町一丁目 12 番 10 号	1,100
2	未定※1	—	—	80
3	非物販店舗	—	—	—
4	コーヒーロースト ※2	代表取締役 上田 敦子	横浜市港北区新吉田東 5-19-16	32※2
5	株式会社ハマデン	代表取締役 濱田 孝之	横浜市青葉区すすき野 3-7-1	63
6	未定※1	—	—	61
7	かど家	代表取締役 山口 栄司	川崎市麻生区下麻生 1-7-25-403	32
8	非物販店舗	—	—	—
9	非物販店舗	—	—	—
10	アンティーク彦根	代表取締役 脇坂 邦彦	川崎市麻生区白山 3-1-2-104	61
11	松井青果	代表取締役 松井 まつの	川崎市宮前区犬蔵 1-1-74	61
12	非物販店舗	—	—	—
13	非物販店舗	—	—	—
14	非物販店舗	—	—	—
15	非物販店舗	—	—	—
16	非物販店舗	—	—	—
17	非物販店舗	—	—	—
18	非物販店舗	—	—	—
19	未定※1	—	—	31
20	非物販店舗	—	—	—
21	非物販店舗	—	—	—
22	未定※1	—	—	—
23	CYCLE M	代表取締役 小林 真人	川崎市麻生区白山 4-1	29
24	非物販店舗	—	—	—
店舗面積合計				1,518

※1 現在、一時的に非物販店舗が営業もしくは空きテナントとなっています。

※2 非物販区画で物販店舗が営業しています。1 割以下かつ 1,000 ㎡以下の増床のため変更の届出の対象としません。また、店舗面積合計には含まれておりません。

(2) 開店時刻及び閉店時刻

No.	名称	開店時刻	閉店時刻
1	株式会社西友	午前 7 時 00 分	午後 11 時 00 分
4	コーヒーロースト	午前 10 時 00 分	午後 7 時 00 分
5	株式会社ハマデン	午前 10 時 00 分	午後 7 時 00 分
7	かど家	午前 10 時 00 分	午後 7 時 00 分
10	アンティーク彦根	午前 12 時 00 分	午後 6 時 00 分
11	松井青果	午前 10 時 30 分	午後 7 時 00 分
23	CYCLE M	午前 10 時 30 分	午後 7 時 00 分

(3) 主として販売する物品の種類

No.	名称	主として販売する物品の種類
1	株式会社西友	生鮮・食料品
4	コーヒーロースト	コーヒー豆
5	株式会社ハマデン	電化製品
7	かど家	総菜・弁当
10	アンティーク彦根	古美術、骨董品等
11	松井青果	野菜
23	CYCLE M	自転車・自転車用品等

(4) 変更予定年月日

令和 8 年 11 月 10 日

4. 立地法指針の各項目に関する事項

(1) 駐車場の計画

① 必要駐車台数算出根拠（指針による計算）

事項等		各事項算出のための計算式
用途地域：商業地域	商業地区	近隣商業地域
S：店舗面積	1,518 千 m^2	
A：店舗面積当たり日來台数原単位	1,469.64 人／千 m^2	人口 40 万人以上、商業地区、 $S \geq 20$
B：ピーク率	14.4%	指針による
L：駅からの距離	1,400m	新百合ヶ丘駅 (小田急小田原線・小田急多摩線)
C：自動車分担率	30%	人口 100 万人以上 & 商業地区の場合 ($L \geq 500$ の場合)
D：平均乗車人員	2.0 人／台	店舗面積 10,000 m^2 未満の場合の値 (固定値)
E：平均駐車時間係数	0.639	店舗面積 10,000 m^2 未満の場合の値 ($30 + 5.5 \times S$) / 60
小売店舗の必要駐車台数	31 台	$A \times S \times B \times C \div D \times E$
X：併設施設の面積の割合	46.44%	
Y：併設施設の割合に応じた比率倍	1.264	併設施設の割合 X
		20～50%
		50～80%
		80%～
併設施設を含めた必要駐車台数	39 台	
届出台数	40 台	

② 特別な事情による駐車場台数の算出

特別な事情の説明
当該店舗は既存店であるため、駐車場利用実績より必要駐車台数を下記のとおり設定します。

必要駐車台数	21 台
--------	------

必要駐車台数算出根拠：

駐車場利用実績を確認したところ、ピーク時間あたりの在庫台数が 21 台/8 時となっておりますが、当該駐車場は 40 台を整備しているため、駐車場は充足していると考えられます。

調査日①：令和 8 年 6 月 14 日（日）

午前 8 時 00 分～午後 11 時 00 分

調査日②：令和 8 年 6 月 15 日（月）

午前 8 時 00 分～午後 11 時 00 分

時間帯	駐車場						在庫
	入口		出口		合計		
	入庫	出庫	入庫	出庫	入庫	出庫	
調査前在庫							7
08時台	9	0	0	10	9	10	6
09時台	11	0	0	14	11	14	3
10時台	19	0	0	13	19	13	9
11時台	29	0	0	20	29	20	18
12時台	32	0	0	32	32	32	18
13時台	27	0	0	31	27	31	14
14時台	23	0	0	24	23	24	13
15時台	19	0	0	28	19	28	4
16時台	16	0	0	16	16	16	4
17時台	20	0	0	19	20	19	5
18時台	13	0	0	12	13	12	6
19時台	14	0	0	15	14	15	5
20時台	4	0	0	9	4	9	0
21時台	4	0	0	2	4	2	2
22時台	0	0	0	0	0	0	2
合計	240	0	0	245	240	245	

時間帯	駐車場						在庫
	入口		出口		合計		
	入庫	出庫	入庫	出庫	入庫	出庫	
調査前在庫							8
08時台	39	0	0	24	39	24	21
09時台	23	0	0	27	23	27	17
10時台	29	0	0	33	29	33	13
11時台	30	0	0	24	30	24	19
12時台	28	0	0	28	28	28	19
13時台	31	0	0	37	31	37	13
14時台	26	0	0	25	26	25	14
15時台	24	0	0	32	24	32	6
16時台	22	0	0	18	22	18	10
17時台	27	0	0	23	27	23	14
18時台	16	0	0	25	16	25	5
19時台	10	0	0	9	10	9	6
20時台	6	0	0	6	6	6	6
21時台	2	0	0	5	2	5	3
22時台	4	0	0	4	4	4	3
合計	317	0	0	320	317	320	

<変更後の予測台数>

時間帯 [Ⓐ]	駐車場 [Ⓐ]						在庫 [Ⓐ]
	入口 [Ⓐ]		出口 [Ⓐ]		合計 [Ⓐ]		
	入庫 [Ⓐ]	出庫 [Ⓐ]	入庫 [Ⓐ]	出庫 [Ⓐ]	入庫 [Ⓐ]	出庫 [Ⓐ]	
調査前在庫							6
06時台	(10) ⁺			(8) ⁺	(10)	(8)	(8)
07時台	(20) ⁺			(18) ⁺	(20)	(18)	(10)
08時台	39 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	24(28) ⁺	39 ⁺	24 ⁺	21 ⁺
09時台	23 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	27 ⁺	23 ⁺	27 ⁺	17 ⁺
10時台	29 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	33 ⁺	29 ⁺	33 ⁺	13 ⁺
11時台	30 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	24 ⁺	30 ⁺	24 ⁺	19 ⁺
12時台	28 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	28 ⁺	28 ⁺	28 ⁺	19 ⁺
13時台	31 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	37 ⁺	31 ⁺	37 ⁺	13 ⁺
14時台	26 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	25 ⁺	26 ⁺	25 ⁺	14 ⁺
15時台	24 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	32 ⁺	24 ⁺	32 ⁺	6 ⁺
16時台	22 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	18 ⁺	22 ⁺	18 ⁺	10 ⁺
17時台	27 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	23 ⁺	27 ⁺	23 ⁺	14 ⁺
18時台	16 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	25 ⁺	16 ⁺	25 ⁺	5 ⁺
19時台	10 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	9 ⁺	10 ⁺	9 ⁺	6 ⁺
20時台	6 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	6 ⁺	6 ⁺	6 ⁺	6 ⁺
21時台	2 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	5 ⁺	2 ⁺	5 ⁺	3 ⁺
22時台	4 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	4 ⁺	4 ⁺	4 ⁺	3 ⁺
合計 [Ⓐ]	317 ⁺	0 ⁺	0 ⁺	320 ⁺	317 ⁺	320 ⁺	

※網掛け部分は変更後の予測の時間帯、() 内台数は変更後の予測台数です。6 時台、7 時台は前時間の半数が入庫するものとししました。赤枠はピーク時の在庫台数です。駐車場利用時間帯の変更後においても駐車場は充足すると想定しています。

③ 駐車場の位置、収容台数等

駐車場の位置	区分	収容台数	規模（台数）			形式	権利関係
			普通	小型	軽		
建物北東側 (添付図面 3～4)	建築物敷地内	40 台	0 台	30 台	10 台	自走式	共同利用

※上記収容台数のほか、月極駐車場として 11 台の駐車場を設置しています。

④ その他駐車場

<従業員等駐車場>

事項	有無の別	当該小売店舗駐車場と 共用・別途の別	駐車台数	備考
従業員駐車場	有	共用・ <u>別途</u>	5 台	—
業務用車両駐車場	無	共用・別途	0 台	—
搬出入車両駐車場	有	共用・ <u>別途</u>	2 台	—
合計			7 台	—

<利用者が異なる付属施設の駐車場>

階数	営業内容	面積	当該小売店舗駐車場と 共用・別途の別	必要 駐車台数	算出根拠
1, 2	事務所	92 m ²	<u>共用</u> ・別途	8 台	併設施設の必要駐車台数を 計算したところ、8 台(39 台 -31 台)となります。
1, 2	接骨院	65 m ²	<u>共用</u> ・別途		
2	学習塾	63 m ²	<u>共用</u> ・別途		
1	郵便局	150 m ²	<u>共用</u> ・別途		

⑤ 駐車場利用時間帯

駐車場の位置	駐車場利用時間帯
建物北東側	午前 6 時 00 分～午後 11 時 30 分

⑥ 駐車場出入口数、位置等

駐車場の出入口の数（入口 1 箇所、出口 1 箇所）

位置	種別	発券ブースの有無	1 時間当たりの 入庫処理能力	ピーク 1 時間の 予想来客自動車
建物北東側	入口専用	<u>有</u> (1 台)・無	450 台	61 台
建物北東側	出口専用	<u>有</u> (1 台)・無	450 台	61 台

※ピーク 1 時間の予想来客自動車台数の算出根拠は、必要駐車台数算出根拠を参照

⑦ 駐車待ちスペース

出入口の 場所	駐車待ち スペース の有無	駐車待ちスペース「有」の場合		駐車待ちスペース 「無」の場合
		長さ	算出結果・算出根拠	その理由・対策
建物 北東側	<u>有</u> ・無	約 35m	$(61/60 \times 1.6 - 7.5) \times 6 = -35.24\text{m}$	—

※算出根拠：(当該人口の 1 分あたりの来台数 $\times$ 1.6 - 当該人口の 1 分あたりの入庫処理可能台数) $\times$ 6 (平均車頭間隔)

⑧ 交通への支障を回避するための方策

項目	具体的な方法・内容
駐車場の分散確保	・当該敷地内に駐車場を整備しており、隔地駐車場はありません。 ・繁忙期に当該施設の来客車両の影響により、周辺道路が混雑する場合は、隔地駐車場の確保等の対応策を検討します。
交通整理員の配置	・繁忙期は適宜、交通整理員を配置します。

添付図面 駐車場計画に関する図面

- ・駐車場配置図 添付図面 3 建物配置図及び1階平面図

(2) 駐輪場の計画

① 必要駐輪台数算出根拠（川崎市自転車等駐車場の附置等に関する条例に基づく算出）

	5,000 m ² 未満
S：店舗面積	1,518 m ²
必要駐輪台数算出式	$S/20=1,518 \text{ m}^2 \div 20=76 \text{ 台}$
必要駐輪台数	76 台

② 特別な事情による駐輪台数の算出

変更はありません。

特別な事情の説明：

当該店舗は既存店であるため、駐輪場利用実績より、必要駐輪台数を下記の通り設定します。

必要駐輪台数	20 台					
必要駐輪台数算出根拠：						
駐輪場利用実績を確認したところ、ピーク時間当たりの在庫台数が 20 台/15 時となっておりますが、当該駐輪場は 57 台を整備しているため、駐輪場は充足していると考えられます。						
調査日：平成 24 年 9 月 29 日（土）						
時間帯	在庫台数					
	No. 1	No. 2	No. 3	No. 4	No. 5	合計
9 時～10 時	1	2	3	1	0	7
10 時～11 時	6	3	4	1	1	15
11 時～12 時	6	3	4	1	0	14
12 時～13 時	4	4	2	1	1	12
13 時～14 時	6	2	4	2	0	14
14 時～15 時	5	0	2	1	1	9
15 時～16 時	8	8	1	1	2	20
16 時～17 時	2	7	5	1	0	15
17 時～18 時	3	3	2	1	0	9
18 時～19 時	1	3	0	0	1	5
19 時～20 時	1	4	1	0	0	6
20 時～21 時	0	1	2	0	0	3
21 時～22 時	0	0	1	0	0	1
合計	43	40	31	10	6	130

③ 駐輪場の構造、収容台数及び面積

駐輪場構造	収容台数	面積
平面式	57 台	57 m ² (0.5m×2.0m)

④ 駐輪場の管理体制

項目	内容
整理員等の配置	従業員等が適宜巡回し、整理整頓を行う。

⑤ 従業員等駐輪場

事項	有無 の別	当該小売店舗駐輪場と 共用・別途の別	必要駐輪 台数	備考
従業員駐輪場	無	—	—	当該店舗はやや起伏のある位置に立地しているため、自転車による通勤の実態がないことから、駐輪場を設けておりません。

添付図面 駐車場計画に関する図面

・駐輪場配置図 添付図面 3 建物配置図及び1階平面図

(3) 自動二輪車及び原動機付自転車駐車場の計画

① 自動二輪車及び原動機付自転車駐車場の構造、収容台数及び面積

既存店舗であり、自動二輪車の違法駐車および利用実態が無いため、自動二輪車駐車場を整備しておりません。自動二輪車で来店が生じた場合は、駐輪場の空きスペースに誘導します。

(4) 荷さばき施設の計画

① 搬出入計画

搬出入時間帯	積載重量	搬出入 車両数	取扱 品目等	平均的な 荷さばき処理時間	廃棄物車両
荷さばき施設 No. 1	4t 以下	5 台/日	食料品 衣料品 雑貨等	15 分 (廃棄物同様)	3 台/日
荷さばき施設 No. 2	2t 以下	8 台/日		15 分 (廃棄物同様)	1 台/日

荷さばき施設 No. 1

時間帯	荷さばき車両(台)	廃棄物車両(台)	合計
6:00～7:00	2		2
7:00～8:00		1	1
8:00～9:00		1	1
9:00～10:00			
10:00～11:00			
11:00～12:00			
12:00～13:00	1		1
13:00～14:00	1		1
14:00～15:00			
15:00～16:00		1	1
16:00～17:00			
17:00～18:00			
18:00～19:00			
19:00～20:00			
20:00～21:00			
21:00～22:00	1		1
合計	5	3	8

荷さばき施設 No. 2

時間帯	荷さばき車両(台)	廃棄物車両(台)	合計
6:00～7:00		1	1
7:00～8:00			
8:00～9:00			
9:00～10:00	1		1
10:00～11:00	1		1
11:00～12:00	1		1
12:00～13:00	2		2
13:00～14:00	2		2
14:00～15:00	1		1
合計	8	1	9

② 荷さばきを行うことができる時間帯

荷さばき施設 No. 1 : 午前 6 時 00 分～午後 10 時 00 分

荷さばき施設 No. 2 : 午前 6 時 00 分～午後 3 時 00 分

③ 荷さばき用駐車施設の位置、面積等

位置	駐車 施設面積	台数	高さ (底高さ)	プラットフォームの広さ	同時作業の 可能な台数	待機スペースの有無・ 広さ
建物北側 No. 1	25.0 m ²	1 台	3.1m	—	1 台	無
建物北側 No. 2	23.1 m ²	1 台	屋外	—	1 台	無

④ 搬出入車両の出入口の数

専用出入口の有無	出入口数、種別	対応等
無	1 箇所 出入口用	・来客車両の入庫車両と同じ動線となりますが、センターラインを引くことで走行車線を明確にし、安全性を確保しています。 ・繁忙時は従業員が出入口まで誘導することで安全を確保しています。 ・荷さばき車両が駐車し。荷卸を行う際に従業員が荷さばき作業に立ち会います。

⑤ 荷さばき施設の規模の算出根拠

荷さばき施設 No. 1

項目	予測数値	予測数値の根拠等
ピーク時の搬出入車両台数	2 台	運用実績より
平均的な荷さばき処理時間	15 分	運用実績より
同時作業可能な台数	1 台	—

荷さばき施設 No. 2

項目	予測数値	予測数値の根拠等
ピーク時の搬出入車両台数	2 台	運用実績より
平均的な荷さばき処理時間	15 分	運用実績より
同時作業可能な台数	1 台	—

添付図面 荷さばき施設の計画に関する図面

- ・搬出入車両の出入口等の配置図 添付図面 3 建物配置図及び 1 階平面図
- ・荷さばき施設の平面図 添付図面 4 地下 1 階平面図

(5) 経路の設定

- ① 敷地周辺の道路の状況
本計画による変更はありません。
- ② 現状の平日、日曜それぞれの交通量調査の結果
本計画による変更はありません。
- ③ 開店後の周辺交差点の交通量の予測
本計画による変更はありません。
- ④ 経路等を来店者に知らせる方法

項目	具体的な内容
看板の設置	駐車場出入口に誘導看板を設置しています。
チラシの配布	—
交通整理員の配置	繁忙期は適宜交通整理員を配置します。
その他	なし

- ⑤ 設置者が行う交通対策等の予定
今後、周辺道路に影響が生じる際は経路変更を検討します。

(6) その他の施設の配置及び運営方法に関する計画

① 歩行者の通行の利便の確保等のための計画

	具体的な内容等
歩行者通路確保のための対策	駐車場出入口には、繁忙時等適宜交通整理員を配置し、歩行者への安全確保に努めます。
夜間照明等の設置の有無	有

② 廃棄物減量化及びリサイクルについての計画

廃棄物減量化及びリサイクル計画の予定及び概要
・ 計画的な商品仕入れや商品管理を行い、廃棄物の発生量の抑制に努めます。 ・ 商品搬入業者に納入容器の減量化を促します。 ・ レジ袋、個装資源の削減に努め、廃棄物の減量化を図ってまいります。 ・ 個装資材の削減に努めてまいります。

周辺住民への周知方法
店内にて周知します。

(7) 騒音に関する予測と対策

① 発生する騒音に対する一般的な対策の概要（遮音壁や緑地帯等の設置を含む）

項 目	具体的な騒音対策
防音壁等の設置	防音壁の設置はありません。
緑地帯の設置	緑地帯の設置はありません。
その他騒音発生施設の設置に関する配慮事項	設備機器は必要に応じてメンテナンスを実施します。

② 荷さばき施設及び作業にかかる騒音対策

項目	具体的な騒音対策の内容
荷さばき施設の配置等	荷さばき施設は、住居から離れた場所に設置しております。
荷さばき施設の騒音対策	段差のない構造とすることで荷さばき作業音、台車走行音等を低減しています。
荷さばき作業の騒音対策	・搬入車両のアイドリング禁止を徹底し、計画的な搬入により待機車両音を解消しています。 ・作業員による荷さばき作業の騒音防止意識を徹底しています。

③ BGM 等の営業宣伝活動の予定

BGM 等の使用	使用時間帯	拡声器の数	具体的な騒音防止対策
無	—	—	—

④ 騒音を発生すると思われる機械・施設の対策

項目	設置の有無	規模・能力	騒音レベル	使用時間帯	騒音の対策
空調機室外機	有	0.75kw～3.8kw (11 台)	53.7dB～ 60.0dB	最大 6 時～ 23 時 30 分	低騒音型 の使用
排気口	有	— (8 台)	60.2dB～ 67.5dB	最大 24 時間	低騒音型 の使用
キュービクル	有	— (1 台)	57.0dB	最大 24 時間	低騒音型 の使用
冷凍機室外機	有	566.9kw (1 台)	59.7dB	最大 24 時間	低騒音型 の使用

⑤ 駐車場の施設構造と騒音対策の概要

構造	収容台数	使用時間	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
平面 自走 式	40 台	午前 6 時 00 分 ～午後 11 時 30 分	床や排水マスによる段差をなくしています。	店内告知やアナウンスにより、アイドリングストップの禁止、静かなドアの開閉等の啓発を行っています。

⑥ 廃棄物収集作業にかかる騒音対策の概要

収集時間	施設面の騒音対策	運用面の騒音対策
午前 6 時 00 分～ 午後 7 時 00 分	段差のない構造とし作業音、台車走行音等を低減しています。	作業員による作業の騒音防止意識を徹底しています。

⑦ 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測結果と算出根拠
(昼間：午前 6 時 00 分～午後 10 時 00 分)

騒音発生源		発生源の 高さ (m) (GL から)	基準距離における 騒音レベル等		騒音継続時間帯 (時 ～ 時) 又は 騒音発生回数	r					Ls				
						予測地点までの 距離[m]					各予測地点における 騒音レベル[dB]				
			騒音レベル (dB)	根拠		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
						11.2	11.2	1.2	1.2	3.9	11.2	11.2	1.2	1.2	3.9
定常騒音	冷凍機室外機 01	1.5	59.7	実測値	6 時～22 時	143.9	136.9	8.7	34.3	89.2	16.5	17.0	40.9	29.0	20.7
定常騒音	キュービクル 01	2.3	57.0	実測値	6 時～22 時	67.1	80.4	90.0	80.4	6.3	20.5	18.9	17.9	18.9	41.0
定常騒音	空調機室外機 01	1.5	57.8	実測値	9 時 30 分～21 時 30 分	147.3	147.7	35.8	7.4	87.8	14.4	14.4	26.7	40.4	18.9
定常騒音	空調機室外機 02	1.5	57.8	実測値	9 時 30 分～21 時 30 分	146.0	147.0	37.5	5.3	86.3	14.5	14.5	26.3	43.3	19.1
定常騒音	空調機室外機 03	1.5	57.8	実測値	9 時 30 分～21 時 30 分	130.4	131.2	36.3	17.6	71.0	15.5	15.4	26.6	32.9	20.8
定常騒音	空調機室外機 04	1.5	60.0	実測値	6 時～22 時	117.3	118.3	41.1	30.2	58.5	18.6	18.5	27.7	30.4	24.7
定常騒音	空調機室外機 05	1.5	57.8	実測値	6 時～22 時	115.2	115.2	40.2	33.4	57.0	16.6	16.6	25.7	27.3	22.7
定常騒音	空調機室外機 06	2.0	58.0	実測値	6 時～22 時	74.6	81.5	77.4	71.7	16.1	20.5	19.8	20.2	20.9	33.9
定常騒音	空調機室外機 07	1.5	53.7	実測値	9 時 30 分～21 時 30 分	136.9	129.6	11.3	36.3	82.8	11.0	11.4	32.6	22.5	15.3
定常騒音	空調機室外機 08	1.5	57.8	実測値	9 時 30 分～21 時 30 分	142.3	135.2	8.9	34.5	87.6	14.7	15.2	38.8	27.0	19.0
定常騒音	空調機室外機 09	1.5	57.8	実測値	9 時 30 分～21 時 30 分	145.6	138.6	8.9	33.9	90.6	14.5	15.0	38.8	27.2	18.7
定常騒音	空調機室外機 10	1.5	57.8	実測値	9 時 30 分～21 時 30 分	149.5	142.6	10.4	33.7	94.3	14.3	14.7	37.4	27.3	18.3
定常騒音	空調機室外機 11	1.5	57.8	実測値	9 時 30 分～21 時 30 分	157.0	150.3	16.0	34.5	101.3	13.9	14.3	33.7	27.0	17.7
定常騒音	排気口 01	3.0	67.5	実測値	6 時～22 時	146.7	147.3	36.7	6.7	87.1	24.2	24.1	36.2	51.0	28.7
定常騒音	排気口 02	3.0	67.5	実測値	6 時～22 時	145.7	146.4	36.5	6.6	86.1	24.2	24.2	36.3	51.1	28.8
定常騒音	排気口 03	3.0	63.0	実測値	6 時～22 時	77.0	83.4	75.1	69.2	18.4	25.3	24.6	25.5	26.2	37.7
定常騒音	排気口 04	3.0	63.0	実測値	6 時～22 時	73.0	79.8	78.6	73.3	14.9	25.7	25.0	25.1	25.7	39.5
定常騒音	排気口 05	3.0	65.2	実測値	6 時～22 時	68.6	76.1	82.3	77.6	11.5	28.5	27.6	26.9	27.4	44.0
定常騒音	排気口 06	3.0	67.4	実測値	6 時～22 時	64.4	72.4	86.1	81.9	9.1	31.2	30.2	28.7	29.1	48.2
定常騒音	排気口 07	3.0	65.2	実測値	6 時～22 時	61.3	69.9	88.8	85.0	8.4	29.4	28.3	26.2	26.6	46.7
定常騒音	排気口 08	3.0	60.2	実測値	6 時～22 時	109.4	103.0	37.0	49.7	57.4	19.4	19.9	28.8	26.3	25.0
変動騒音	来客車両走行 001	7.5	74.0	騒音手引	昼 306 台	19.7	45.0	128.3	126.7	41.5	48.1	40.9	31.8	31.9	41.6
変動騒音	来客車両走行 002	6.3	74.0	騒音手引	昼 306 台	34.2	52.1	114.7	112.1	27.1	43.3	39.7	32.8	33.0	45.3
変動騒音	来客車両走行 003	5.0	74.0	騒音手引	昼 306 台	41.7	52.4	105.7	104.9	22.4	41.6	39.6	33.5	33.6	47.0
変動騒音	来客車両走行 004	4.7	74.0	騒音手引	昼 306 台	44.1	45.9	102.4	105.9	29.2	41.1	40.8	33.8	33.5	44.7
変動騒音	来客車両走行 005	4.7	74.0	騒音手引	昼 306 台	50.7	39.8	99.6	108.9	41.0	39.9	42.0	34.0	33.3	41.7
変動騒音	来客車両走行 006	4.7	74.0	騒音手引	昼 306 台	51.9	49.5	94.9	100.1	29.2	39.7	40.1	34.5	34.0	44.7
変動騒音	来客車両走行 007	4.7	74.0	騒音手引	昼 306 台	62.0	52.6	86.4	96.1	36.7	38.1	39.6	35.3	34.3	42.7
変動騒音	来客車両走行 008	4.7	74.0	騒音手引	昼 306 台	61.9	44.8	92.2	105.7	47.7	38.2	41.0	34.7	33.5	40.4
変動騒音	来客車両走行 009	4.7	74.0	騒音手引	昼 306 台	51.6	30.6	106.7	119.3	53.4	39.7	44.3	33.4	32.5	39.5
変動騒音	来客車両走行 010	4.7	74.0	騒音手引	昼 306 台	44.5	18.3	119.4	131.4	60.8	41.0	48.7	32.5	31.6	38.3
変動騒音	来客車両走行 011	4.7	74.0	騒音手引	昼 306 台	41.2	24.5	114.9	124.7	52.2	41.7	46.2	32.8	32.1	39.6
変動騒音	来客車両走行 012	4.7	74.0	騒音手引	昼 306 台	31.6	32.3	117.0	121.7	42.7	44.0	43.8	32.6	32.3	41.4
変動騒音	来客車両走行 013	4.7	74.0	騒音手引	昼 306 台	35.4	42.7	111.2	113.1	32.2	43.0	41.4	33.1	32.9	43.8
変動騒音	大型車両走行 01	6.5	89.1	ASJ	昼 24 台	24.1	48.7	125.2	122.5	37.1	61.5	55.4	47.1	47.3	57.7
変動騒音	大型車両走行 02	4.1	89.1	ASJ	昼 24 台	47.3	62.2	103.8	99.2	14.0	55.6	53.2	48.8	49.2	66.2
変動騒音	大型車両走行 03	1.4	89.1	ASJ	昼 24 台	66.1	76.5	87.2	80.5	6.7	52.7	51.4	50.3	51.0	72.6
変動騒音	大型車両走行 04	0.0	89.1	ASJ	昼 24 台	80.3	88.2	75.1	66.3	20.0	51.0	50.2	51.6	52.7	63.1
変動騒音	大型車両走行 05	0.0	89.1	ASJ	昼 24 台	94.9	101.0	63.4	51.5	34.6	49.6	49.0	53.1	54.9	58.3
変動騒音	大型車両走行 06	0.0	89.1	ASJ	昼 16 台	85.9	91.7	68.6	60.6	26.3	50.4	49.9	52.4	53.5	60.7
変動騒音	大型車両走行 07	0.0	89.1	ASJ	昼 8 台	110.3	114.9	52.8	36.0	50.0	48.2	47.9	54.6	58.0	55.1
変動騒音	大型車両走行 08	0.0	89.1	ASJ	昼 8 台	120.4	124.2	47.5	25.9	60.0	47.5	47.2	55.6	60.8	53.5
変動騒音	大型車両走行 09	0.0	89.1	ASJ	昼 8 台	118.1	121.0	45.7	28.3	58.1	47.7	47.4	55.9	60.1	53.8
変動騒音	大型車両後進ブザー01	1.5	90.0	騒音手引	昼 8 台	94.8	100.8	63.4	51.5	34.5	50.5	49.9	54.0	55.8	59.3
変動騒音	大型車両後進ブザー02	1.5	90.0	騒音手引	昼 8 台	85.7	91.5	68.6	60.6	26.1	51.3	50.8	53.3	54.4	61.7
変動騒音	大型車両後進ブザー03	1.5	90.0	騒音手引	昼 4 台	120.2	124.0	47.5	25.9	60.0	48.4	48.1	56.5	61.7	54.4
変動騒音	大型車両後進ブザー04	1.5	90.0	騒音手引	昼 4 台	117.9	120.9	45.7	28.3	58.1	48.6	48.4	56.8	61.0	54.7
変動騒音	廃棄物収集作業 01	1.5	90.0	騒音手引	昼 3 回	84.4	89.0	67.9	62.1	25.9	51.5	51.0	53.4	54.1	61.7
変動騒音	廃棄物収集作業 02	1.5	90.0	騒音手引	昼 1 回	118.0	119.9	42.9	28.8	58.6	48.6	48.4	57.3	60.8	54.6
変動騒音	台車平坦走行 01	0.0	71.0	騒音手引	昼 5 回	84.6	89.2	67.9	62.1	26.1	32.5	32.0	34.4	35.1	42.7
変動騒音	台車平坦走行 02	0.0	71.0	騒音手引	昼 3 回	118.2	120.0	43.0	28.8	58.7	29.5	29.4	38.3	41.8	35.6
衝撃騒音	荷さばき作業 01	1.5	86.1	騒音手引	昼 5 回	84.4	89.0	67.9	62.1	25.9	47.6	47.1	49.5	50.2	57.8
衝撃騒音	荷さばき作業 02	1.5	86.1	騒音手引	昼 3 回	118.0	119.9	42.9	28.8	58.6	44.7	44.5	53.4	56.9	50.7
衝撃騒音	台車段差越え 01	0.0	83.0	騒音手引	昼 5 台	84.6	89.2	67.9	62.1	26.1	44.5	44.0	46.4	47.1	54.7
衝撃騒音	台車段差越え 02	0.0	83.0	騒音手引	昼 3 台	118.2	120.0	43.0	28.8	58.7	41.5	41.4	50.3	53.8	47.6
各予測地点における 昼間(午前 6 時～午後 10 時)の等価騒音レベル			各予測地点における騒音に係る環境基準に基づく当該出店地の地域の類型												
A 地点(高さ 11.2m):43.1dB			第一種中高層住居専用地域			A 類型					基準値:55dB				
B 地点(高さ 11.2m):41.8dB			第一種中高層住居専用地域			A 類型					基準値:55dB				

騒音発生源	発生源の 高さ (m) (GLから)	基準距離における 騒音レベル等		騒音継続時間帯 (時 ～ 時) 又は 騒音発生回数	r					Ls				
					予測地点までの 距離[m]					各予測地点における 騒音レベル[dB]				
		騒音レベル (dB)	根拠		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
					11.2	11.2	1.2	1.2	3.9	11.2	11.2	1.2	1.2	3.9
C 地点(高さ 1.2m):47.8dB				近隣商業地域	C 類型					基準値:60dB				
D 地点(高さ 1.2m):55.0dB				第一種中高層住居専用地域	A 類型					基準値:55dB				
E 地点(高さ 3.9m):54.6dB				第一種中高層住居専用地域	A 類型					基準値:55dB				

<評価>

全ての予測地点において昼間の等価騒音レベルは環境基準を満足する値になるため、周辺へ与える騒音の影響は軽微であると推測いたします。

静穏に努めて運用してまいります。近隣の方々より騒音に関するご意見を頂いた場合には、状況を確認し適切に対応いたします。

夜間の午後 10 時～午前 6 時においては本計画による変更はありません。

添付図面 騒音予測に関する図面

- ・騒音予測地点図 別紙図面
- ・騒音発生源となる施設設備の配置図 別紙図面

- ⑧ 夜間において発生する騒音ごとの予測結果と算出根拠
本計画による変更はありません。

(8) 廃棄物の保管場所の計画

① 廃棄物等保管施設の位置及び容量

位置	容量
建物北側 添付図面 4	32.94 m ³

② 廃棄物等の排出量の予測

廃棄物 種 別	店舗面積：S		1 日当たり 廃棄物排出量 (指針原単位) ×S:A	平均保管 日数：B	見 かけ 比 重 (t/m³)：C	排出予 測 量 ^{m³} A × B ÷ C
紙製 廃棄物等	6000 m² 以下 の部分	1.518 千m²	0.3157t	1 日	0.10	3.16
	6000m² 超 の部分	—	—			
	計	1.518 千m²	0.3157t			
金属製 廃棄物等	6000 m² 以下 の部分	1.518 千m²	0.0106t	1 日	0.15	0.07
	6000m² 超 の部分	—	—			
	計	1.518 千m²	0.0106t			
ガラス製 廃棄物等	6000 m² 以下 の部分	1.518 千m²	0.0091t	1 日	0.30	0.03
	6000m² 超 の部分	—	—			
	計	1.518 千m²	0.0091t			
プラスチッ ク製廃棄物 等	6000 m² 以下 の部分	1.518 千m²	0.0304t	1 日	0.04	0.76
	6000m² 超 の部分	—	—			
	計	1.518 千m²	0.0304t			
生ごみ等	6000 m² 以下 の部分	1.518 千m²	0.2565t	1 日	0.55	0.47
	6000m² 超 の部分	—	—			
	計	1.518 千m²	0.2565t			
その他の 可燃性 廃棄物等	6000 m² 以下 の部分	1.518 千m²	0.082t	1 日	0.38	0.22
	6000m² 超 の部分	—	—			
	計	1.518 千m²	0.082t			
				合 計	4.71 m³	

- ③ 特別な事情による廃棄物等の排出量予測
特にありません。

- ④ 小売店舗以外の施設からの廃棄物等の排出状況

廃棄物保管施設の状況	小売店舗と共用
------------	---------

小売店舗以外の施設からの廃棄物等の予測排出量	小売店舗以外の施設からの廃棄物等の排出量の予測の根拠
3.28 m ³	小売店舗以外の施設は廃棄物等の排出量が小売店舗に比べて少ないと想定されるが、安全面を考慮し小売店舗以外の施設の廃棄物等の排出量を指針による計算で予測を行った。 小売店舗以外の施設の合計面積：705 m ²

小売店舗以外の施設の廃棄物等の予測排出量（3.28 m³）と、小売店舗施設の廃棄物等の予測排出量（4.71 m³）を加えると 7.99 m³ となり、当該店舗における廃棄物保管施設 32.94 m³ を下回っているため十分対応できるといえます。

- ⑤ 廃棄物等の保管施設の計画
本計画による変更はございません。

(9) 廃棄物等の運搬・処理計画

① 廃棄物等の運搬方法

廃棄物等種別	運搬方法	予定運搬者等	収集車の種類	運搬の頻度
紙性廃棄物	業者委託	横浜環境保全(株)	パッカー車	1回/1日
金属製廃棄物	業者委託	横浜環境保全(株)	パッカー車	1回/1週
ガラス製廃棄物	業者委託	横浜環境保全(株)	パッカー車	1回/1週
プラスチック製廃棄物	業者委託	横浜環境保全(株)	パッカー車	1回/1日
生ゴミ	業者委託	横浜環境保全(株)	パッカー車	1回/1日
その他可燃性廃棄物	業者委託	横浜環境保全(株)	パッカー車	1回/1日

② 廃棄物等の処理方法

廃棄物等種別	処理業者	敷地内処理の場合			
		具体的 処理方法	処理関連 設備内容	処理施設 悪臭対策	処理施設 防音対策
紙性廃棄物	横浜環境保全(株)	敷地内処理は行っておりません。			
金属製廃棄物	横浜環境保全(株)				
ガラス製廃棄物	横浜環境保全(株)				
プラスチック製 廃棄物	横浜環境保全(株)				
生ゴミ	横浜環境保全(株)				
その他可燃性 廃棄物	横浜環境保全(株)				

③ 廃棄物の分別・リサイクル計画

廃棄物の 種類	発生予測量(A+B) t/年	ゴミ処理量(A) t/年	資源化量(B) t/年
新聞・雑誌	11.5t	0t	11.5t
段ボール	85.6t	0t	86.6t
その他紙類	—	—	—
厨芥類	38.3t	19.1t	19.2t
空き缶	1.3t	0t	1.3t
空き瓶	0.6t	0t	0.6t
その他	14.0t	9.8t	4.2t
合計	151.3t	28.9t	122.4t

※H24の排出実績より

④ 小売業者における廃棄物等運搬・処理方法

本計画による変更はありません。

⑤ 廃棄物の分別・リサイクル計画

本計画による変更はありません。

⑥ 食品加工場等計画

本計画による変更はありません。

添付図面 廃棄物等保管施設に関する図面

・廃棄物等保管施設の配置図 添付図面 4

(10) 街並みづくり等への配慮に関する事項

本計画による変更はありません。



委任状

(代理人)

氏名（名称）：株式会社エスパシオコンサルタント

住所（所在地）：東京都中央区新川一丁目6番1号

担当者：環境企画部 松田 菜穂子

私は、上記の者を代理人と定め、下記店舗に係る大規模小売店舗立地法の手続きについて、下記明細に関する一切の権限を委任します。

(委任事項に係る大規模小売店舗の名称及び所在地)

名称 新ゆりグリーンプラザ

所在地 川崎市麻生区白山四丁目1番3号

記

(委任明細)

1. 大規模小売店舗立地法第6条2項届出の規定による一切の件
1. 大規模小売店舗立地法第7条（説明会の開催等）の規定による説明会の周知・開催及び実施状況報告に関する一切の件
1. 上記行為に付する川崎市等との協議及び届出申請・受領及び書類等（図面を含む）の補正・取り下げに関する一切の件
1. 上記に関連する業務及び付帯業務に関連する一切の件
1. 上記行為につき復代理人を選任する一切の件

令和 8 年 9 月 25 日

(委任者及び設置者)

氏 名 株式会社戸田不動産

代表者名 代表取締役 戸田 学

住 所 東京都港区芝浦三丁目14番6号



大規模小売店舗立地法手続きに係る 騒 音 予 測

新ゆりグリーンプラザ

＜添付資料：大規模小売店舗立地法施行規則 第四条第一項第十号及び第十一号＞

目 次

1. 騒音予測の概要	1
1.1 騒音に係る環境基準について	1
1.2 計算方法	1
1.2.1 騒音源の A 特性音響パワーレベル計算方法	1
1.2.2 伝搬経路計算方法	1
1.2.3 等価騒音レベル計算方法	3
2. 予測の評価	4
2.1 騒音の総合的な予測・評価	4
3. 予測地点の決定	5
3.1 騒音の総合的な予測地点	5
4. 騒音予測のまとめ	6
4.1 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測結果	6
5. 各騒音源のデータ	8
5.1 騒音データ	8
① 定常騒音	8
② その他の騒音源	8
③ 自動車走行騒音	9
5.2 騒音予測における来客車両台数の考え方	10

1. 騒音予測の概要

1.1 騒音に係る環境基準について

川崎市における環境基準を下表に示します。

表-1 環境基準

地域の類型	基準値		当該地域
	昼間	夜間	
A	55dB 以下	45dB 以下	第一種低層住居専用地域 第二種低層住居専用地域 第一種中高層住居専用地域 第二種中高層住居専用地域
B	55dB 以下	45dB 以下	第一種住居地域 第二種住居地域 準住居地域 その他の地域
C	60dB 以下	50dB 以下	近隣商業地域 商業地域 準工業地域 工業地域

1.2 計算方法

1.2.1 騒音源の A 特性音響パワーレベル計算方法

① 定常騒音・変動騒音(自動車走行騒音以外)・衝撃騒音

下式より、A 特性音響パワーレベルに相当する値を求めています。

$$L_W = L_P - 10 \log_{10} \left(\frac{Q}{4\pi r^2} \right)$$

L_W : 各騒音源のパワーレベル [dB(A)]

L_P : 音圧レベル(実測値・メーカー資料(カタログ・仕様書)等) [dB(A)]

Q : 指向係数 (Q=1:自由空間(無響室等))
(Q=2:半自由空間(半無響室、地上、床面等))

r : 測定距離[m]

自動車走行騒音については、「ASJ RIN-Model 2023」のパワーレベル算出式又は自動車工学に基づくパワーレベル式及び「大規模小売店舗から発生する騒音の手引き」により算出しております。

1.2.2 伝搬経路計算方法

「1.2.1 騒音源の A 特性音響パワーレベル計算方法」で求めた各騒音源及び各仮想点音源から各予測地点へ、距離減衰及び回折減衰した騒音レベル(L_S)を求めます。自動車走行に関する騒音については、騒音源を線分とする場合、「ASJ RIN-Model 2023」に従い、騒音源と予測地点との位置関係により線分の区間を分割し、各区間の中心に仮想点音源を設定しています(※1)。

$$L_S = L_{Pi} - A_{div} - A_{bar}$$

L_S : 各予測地点における騒音レベル [dB(A)]

L_{Pi} : 騒音源の基準距離騒音レベル[dB(A)] (L_W-8)

A_{div} : 距離減衰 [dB](※2)

A_{bar} : 回折減衰 [dB](※3)

※1 来客車両走行線、搬出入車両走行線などの自動車走行は、ひとつの線を均等な区間に分割し、その区間の中心に区間を代表する点音源を置きました。また、搬出入車両の後進ブザー音線に関しては、短い線であるのでその中心に代表する点を1点置きました。

※2 距離減衰[dB]

$$A_{div} = 20 \log_{10} r$$

r : 音源から予測地点までの距離[m]

*平面上(半自由空間)に騒音源があるため、指向係数を $Q=2$ として算出しております。

※3 回折減衰[dB]

$$A_{bar} = \begin{cases} 10 \log_{10} N + 13 & N \geq 1 \\ 5 \pm 0.1 \sinh^{-1}(|N|^{0.485}) & -0.322 \leq N < 1 \\ 0 & N < -0.322 \end{cases}$$

$$N = 2\sigma / \lambda$$

N : フレネル数

σ : 行路差[m]

λ : 波長[m]

※ λ [m] = 340 ÷ 周波数 [Hz]

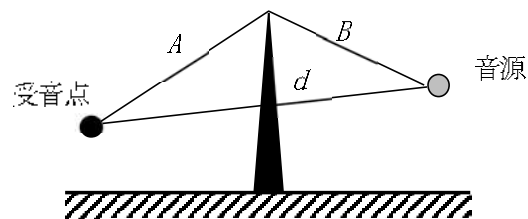


図 遮音壁による音の減衰

なお、自動車走行の回折減衰については、下記の計算式を使用しております。

$$A_{bar} = \begin{cases} 10 \log_{10} \sigma + 20 & 1 \leq \sigma \\ 5 \pm 1.7 \sinh^{-1}(|\sigma|^{0.415}) & -0.053 \leq \sigma < 1 \\ 0 & \sigma < -0.053 \end{cases}$$

すなわち、騒音レベル(L_S)は、A特性音響パワーレベルから求めることとして

$$L_S = L_W - 8 - 20 \log_{10} r - A_{bar}$$

として算出しております。

1.2.3 等価騒音レベル計算方法

1.2.3.1 各時間帯 $L_{Aeq,T}$ 計算

各計算点の騒音レベルを、対象とする時間帯の $L_{Aeq,T}$ となるように計算します。

① 設備機器騒音 $L_{Aeq,T}$ 計算

$$L_{Aeq,T} = L_S + 10 \log_{10} \frac{T_i}{T}$$

$L_{Aeq,T}$: 対象とする時間区分の騒音源の等価騒音レベル [dB(A)]

L_S : 各伝搬経路毎の計算点における騒音レベル [dB(A)]

T : 対象とする基準時間帯の時間[s] (昼間は 57,600[s]、夜間は 28,800[s])

T_i : 対象とする基準時間帯における i 番目の騒音の継続時間[s]

② 荷さばき作業(廃棄物収集作業)騒音 $L_{Aeq,T}$ 計算

$$L_{Aeq,T} = L_S + 10 \log_{10} \frac{aT_w}{T}$$

$L_{Aeq,T}$: 対象とする時間区分の騒音源の等価騒音レベル [dB(A)]

L_S : 各伝搬経路毎の計算点における騒音レベル [dB(A)]

T : 対象とする基準時間帯の時間[s] (昼間は 57,600[s]、夜間は 28,800[s])

a : 荷さばき作業(廃棄物収集作業)の回数[回]

T_w : 荷さばき作業(廃棄物収集作業)1回における平均継続時間(実測値平均値)[s]

③ 自動車走行騒音 $L_{Aeq,T}$ 計算

$$L_{Aeq,T} = L_S + 10 \log_{10} \frac{a_d T_m}{T}$$

$L_{Aeq,T}$: 対象とする時間区分の騒音源の等価騒音レベル [dB(A)]

L_S : 各伝搬経路毎の計算点における騒音レベル [dB(A)]

T : 対象とする基準時間帯の時間[s] (昼間は 57,600[s]、夜間は 28,800[s])

a_d : 走行台数[台]

T_m : 区間における通過時間[s]

$$T_m = \frac{3600}{1000 \cdot V} \cdot \Delta l \quad \text{但し、V: 走行速度[km/h]}$$

Δl : 区間の長さ[m]

④ 車両後進ブザー騒音 $L_{Aeq,T}$ 計算

$$L_{Aeq,T} = L_S + 10 \log_{10} \frac{a_d T_b}{T}$$

$L_{Aeq,T}$: 対象とする時間区分の騒音源の等価騒音レベル [dB(A)]

L_S : 各伝搬経路毎の計算点における騒音レベル [dB(A)]

T : 対象とする基準時間帯の時間[s] (昼間は 57,600[s]、夜間は 28,800[s])

a_d : 後進警告ブザーが鳴る車両の走行台数 [台]

T_b : 区間におけるブザーが鳴っている時間[s]

$$T_b = \frac{3600}{1000 \cdot V} \cdot \Delta l \quad \text{但し、V: 走行速度(5[km/h]と設定) [km/h]}$$

Δl : 区間の長さ[m]

1.2.3.2 等価騒音レベル L_{Aeq} 計算

上記の各経路の等価騒音レベルをエネルギー合成して、各計算点の等価騒音レベルを求めます。

$$L_{Aeq} = 10 \log_{10} \left(\sum_{i=1}^n 10^{\frac{L_{Aeq,T,i}}{10}} \right)$$

L_{Aeq} : 計算点における対象とする時間帯の等価騒音レベル [dB(A)]

$L_{Aeq,T,i}$: 対象とする時間帯の各騒音源の等価騒音レベル [dB(A)]

2. 予測の評価

2.1 騒音の総合的な予測・評価

昼間(午前6時から午後10時までの16時間)発生する騒音ごとの予測・評価を算出しました。

各予測地点(資料【騒音源及び予測地点配置図】)における騒音レベルの予測計算は、下記の通り行いました。

- 1) 個々の騒音源から発生する騒音について「1.2.1 騒音源のA特性音響パワーレベル計算方法」により音響パワーレベルを求める。
- 2) 音響パワーレベルから騒音源の基準距離騒音レベルを求める。
- 3) 騒音源から距離減衰等の影響を考慮して、予測地点における騒音レベルを求める。
- 4) 予測地点での騒音レベルについて、対象とする時間区分における等価騒音レベルを求める。
- 5) 4)で求めた全ての等価騒音レベルをエネルギー的に加算し、予測地点における等価騒音レベルとする。

※昼間の開店時刻のみの変更のため、夜間の等価騒音レベルおよび発生する騒音ごとの予測・評価は行っておりません。

3. 予測地点の裁定

3.1 騒音の総合的な予測地点

下表のように予測地点を設定し、騒音源(室外機、車両走行音等)の設置高さを考慮し、騒音レベルを予測します。

表-3 騒音の総合的な予測地点

予測地点	予測高さ(m)	用途地域	区域の 類型	環境基準値 (dB)		決定理由
				昼間	夜間	
A	11.2	第一種中高層 住居専用地域	A 類型	55	45	車両走行音等の影響を受ける、道路を挟んだ隣地敷地境界 (現況: マンション13階建) ※1～13階で予測し、最も影響の大きい1階(11.2m)で評価 (GL+10.0m)
B	11.2	第一種中高層 住居専用地域	A 類型	55	45	車両走行音等の影響を受ける、道路を挟んだ隣地敷地境界 (現況: マンション13階建) ※1～13階で予測し、最も影響の大きい1階(11.2m)で評価 (GL+10.0m)
C	1.2	近隣商業地域	C 類型	60	50	設備機器等の影響を受ける、隣地との敷地境界 (現況: 文化センター) ※隣地が文化センターのため、1階高さ(1.2m)で予測 (GL±0.0m)
D	1.2	第一種中高層 住居専用地域	A 類型	55	45	設備機器等の影響を受ける、隣地との敷地境界 (現況: 公園) ※隣地が公園のため、1階高さ(1.2m)で予測 (GL±0.0m)
E	3.9	第一種中高層 住居専用地域	A 類型	55	45	設備機器・車両走行音等の影響を受ける、隣地との敷地境界 (現況: 公園) ※隣地が公園のため、1階高さ(3.9m)で予測 (GL+2.7m)

4. 騒音予測のまとめ

4.1 平均的な状況を呈する日における等価騒音レベルの予測結果

店舗から発生することが見込まれる騒音について、全時間帯のうち昼間(午前 6 時～午後 10 時の 16 時間)の時間帯の等価騒音レベルを予測した結果を下表に示します。

表4 昼間の等価騒音レベルの予測結果

騒音発生源	発生源の高さ (m) (GLから)	基準評価における 騒音レベル等		騒音予測時間帯 (時～時) 又は 騒音発生回数	予測地点までの 距離[m]					各予測地点における 騒音レベル[dB]					
		騒音レベル (dB)	根拠		A	B	C	D	E	A	B	C	D	E	
					11.2	11.2	12	12	12	3.9	11.2	11.2	12	12	12
定常騒音	冷凍機室外機 C1	1.5	53.7	実測値	6時～22時	143.9	146.9	87	34.3	53.7	16.5	17.0	40.9	20.0	20.7
定常騒音	キュービクル C1	2.3	57.7	実測値	6時～22時	171.1	80.4	99.0	50.4	6.9	20.5	18.9	17.9	18.9	41.3
定常騒音	空調機室外機 C1	1.5	57.7	実測値	9時30分～21時30分	147.3	147.7	35.8	7.4	57.8	14.4	14.4	26.7	40.4	18.7
定常騒音	空調機室外機 C2	1.5	57.7	実測値	9時30分～21時30分	146.0	147.0	37.5	5.3	58.3	14.5	14.5	28.3	43.3	19.1
定常騒音	空調機室外機 C3	1.5	57.8	実測値	9時30分～21時30分	133.4	134.2	36.3	17.5	71.0	15.5	15.4	26.6	32.9	20.8
定常騒音	空調機室外機 C4	1.5	63.0	実測値	6時～22時	117.3	118.3	41.1	30.2	58.5	18.6	18.5	27.7	30.4	24.7
定常騒音	空調機室外機 C5	1.5	57.7	実測値	6時～22時	115.3	115.3	40.2	35.4	57.0	16.6	16.6	25.7	27.5	22.7
定常騒音	空調機室外機 C6	2.3	58.0	実測値	6時～22時	74.6	81.5	77.4	71.7	16.1	20.5	17.8	20.2	20.9	33.7
定常騒音	空調機室外機 C7	1.5	58.7	実測値	9時30分～21時30分	138.9	126.6	11.3	36.3	52.8	11.0	11.4	32.6	22.5	15.4
定常騒音	空調機室外機 C8	1.5	57.7	実測値	9時30分～21時30分	142.3	145.3	8.9	34.5	57.6	14.7	15.2	38.8	27.0	19.9
定常騒音	空調機室外機 C9	1.5	57.7	実測値	9時30分～21時30分	145.6	148.6	8.9	35.7	70.6	14.5	15.0	38.8	27.2	18.7
定常騒音	空調機室外機 C10	1.5	57.7	実測値	9時30分～21時30分	147.5	147.6	10.4	35.7	74.3	14.3	14.7	37.4	27.3	18.4
定常騒音	空調機室外機 C11	1.5	57.8	実測値	9時30分～21時30分	157.0	150.3	16.0	34.5	101.3	13.9	14.3	33.7	27.0	17.7
定常騒音	排気口 C1	3.0	67.5	実測値	6時～22時	145.7	147.3	36.7	6.7	57.1	24.2	24.1	36.2	51.0	28.7
定常騒音	排気口 C2	3.0	67.5	実測値	6時～22時	145.7	146.4	36.5	6.8	58.1	24.2	24.2	36.3	51.1	28.5
定常騒音	排気口 C3	3.0	63.0	実測値	6時～22時	77.0	83.4	75.1	80.2	18.4	25.3	24.6	25.5	26.2	37.7
定常騒音	排気口 C4	3.0	63.0	実測値	6時～22時	73.0	79.5	75.6	73.3	14.9	25.7	25.0	25.1	25.7	30.5
定常騒音	排気口 C5	3.0	65.3	実測値	6時～22時	68.6	76.1	82.3	77.6	11.5	28.5	27.6	26.9	27.4	44.3
定常騒音	排気口 C6	3.0	67.4	実測値	6時～22時	64.4	72.4	86.1	51.9	9.1	31.2	30.2	28.7	29.1	48.2
定常騒音	排気口 C7	3.0	65.3	実測値	6時～22時	61.3	69.3	85.8	55.0	8.4	29.4	28.3	26.2	26.6	46.7
定常騒音	排気口 C8	3.0	63.2	実測値	6時～22時	102.4	133.0	37.0	49.7	57.4	19.4	19.5	28.8	26.3	25.3
変動騒音	乗客車両走行 C01	7.5	74.0	騒音予測	昼306台	19.7	45.0	128.3	126.7	41.5	48.1	43.5	31.8	31.9	41.5
変動騒音	乗客車両走行 C02	6.3	74.0	騒音予測	昼306台	34.3	52.1	114.7	112.1	27.1	43.5	37.7	32.8	33.0	45.3
変動騒音	乗客車両走行 C03	5.0	74.0	騒音予測	昼306台	41.7	52.4	105.7	104.9	22.4	41.6	37.6	33.5	33.6	47.3
変動騒音	乗客車両走行 C04	4.7	74.0	騒音予測	昼306台	44.1	45.7	102.4	105.9	20.2	41.1	40.8	33.8	33.5	44.7
変動騒音	乗客車両走行 C05	4.7	74.0	騒音予測	昼306台	50.7	39.8	95.6	108.7	21.0	35.9	42.3	34.0	33.3	41.7
変動騒音	乗客車両走行 C06	4.7	74.0	騒音予測	昼306台	51.9	49.5	74.9	100.1	23.2	35.7	40.1	34.5	34.0	44.7
変動騒音	乗客車両走行 C07	4.7	74.0	騒音予測	昼306台	62.0	52.5	85.4	96.1	36.7	38.1	39.6	35.3	34.3	42.7
変動騒音	乗客車両走行 C08	4.7	74.0	騒音予測	昼306台	61.9	44.5	92.2	105.7	47.7	38.2	41.0	34.7	33.5	40.4
変動騒音	乗客車両走行 C09	4.7	74.0	騒音予測	昼306台	51.6	30.6	136.7	119.3	53.4	35.7	44.3	33.4	32.5	39.5
変動騒音	乗客車両走行 C10	4.7	74.0	騒音予測	昼306台	44.5	18.3	113.4	131.4	60.8	41.0	45.7	32.5	31.6	38.3
変動騒音	乗客車両走行 C11	4.7	74.0	騒音予測	昼306台	41.3	24.5	114.5	124.7	52.2	41.7	46.2	32.8	32.1	39.6
変動騒音	乗客車両走行 C12	4.7	74.0	騒音予測	昼306台	31.6	32.3	117.0	121.7	42.7	44.0	43.8	32.6	32.3	41.4
変動騒音	乗客車両走行 C13	4.7	74.0	騒音予測	昼306台	35.4	42.7	111.2	113.1	32.2	43.0	41.4	32.1	32.9	45.5
変動騒音	大型車両走行 C1	6.5	83.1	A3D	昼24台	24.1	48.7	125.0	123.5	37.1	61.5	55.4	42.1	47.3	57.7
変動騒音	大型車両走行 C2	4.1	82.1	A3D	昼24台	47.3	62.2	103.8	35.2	14.0	55.6	53.2	48.8	49.2	66.2
変動騒音	大型車両走行 C3	1.4	82.1	A3D	昼24台	66.1	76.5	87.2	80.5	6.7	52.7	51.4	50.3	51.0	72.5
変動騒音	大型車両走行 C4	0.3	83.1	A3D	昼24台	80.3	88.2	75.1	66.3	20.3	51.0	50.2	51.6	52.7	63.1
変動騒音	大型車両走行 C5	0.3	83.1	A3D	昼24台	54.9	101.3	63.4	51.5	34.6	49.6	47.0	53.1	54.9	58.3
変動騒音	大型車両走行 C6	0.3	83.1	A3D	昼16台	85.9	91.7	88.6	60.6	23.3	50.4	49.3	52.4	53.5	60.7
変動騒音	大型車両走行 C7	0.3	83.1	A3D	昼8台	113.3	114.9	52.8	36.3	53.0	48.2	47.3	54.6	54.0	55.1
変動騒音	大型車両走行 C8	0.3	83.1	A3D	昼8台	123.4	124.3	47.5	25.7	63.0	47.5	47.3	55.6	60.8	53.5
変動騒音	大型車両走行 C9	0.3	83.1	A3D	昼8台	115.1	121.0	45.7	28.3	55.1	47.7	47.4	55.9	60.1	53.5
変動騒音	大型車リフト作業 C1	1.5	93.0	騒音予測	昼8台	54.8	100.5	63.4	51.5	34.5	50.5	49.5	54.0	55.8	59.3
変動騒音	大型車リフト作業 C2	1.5	93.0	騒音予測	昼8台	85.7	91.5	38.6	60.5	25.1	51.3	50.5	53.3	54.4	61.7
変動騒音	大型車リフト作業 C3	1.5	93.0	騒音予測	昼4台	123.2	124.0	47.5	25.7	63.0	48.4	48.1	56.5	61.7	54.4
変動騒音	大型車リフト作業 C4	1.5	93.0	騒音予測	昼4台	117.9	120.9	45.7	28.3	55.1	48.6	48.5	55.8	61.0	54.7
変動騒音	高圧水圧洗浄機 C1	1.5	93.0	騒音予測	昼3回	84.4	89.6	37.9	62.1	25.5	51.5	51.3	53.4	54.1	61.7
変動騒音	高圧水圧洗浄機 C2	1.5	93.0	騒音予測	昼1回	115.0	116.9	42.9	28.5	55.6	48.6	48.4	52.3	60.8	54.6
変動騒音	台車半直走行 C1	0.3	71.0	騒音予測	昼5回	84.6	89.2	37.9	62.1	25.1	32.5	32.3	34.4	35.1	42.7
変動騒音	台車半直走行 C2	0.3	71.0	騒音予測	昼3回	115.3	120.0	43.0	28.5	55.7	29.5	27.4	38.3	41.8	35.6
衝撃騒音	荷さばき作業 C1	1.5	86.1	騒音予測	昼5回	84.4	89.0	37.9	62.1	25.5	47.6	47.1	45.5	50.2	57.8
衝撃騒音	荷さばき作業 C2	1.5	86.1	騒音予測	昼3回	115.0	115.9	42.9	28.5	55.6	44.7	44.5	53.4	56.9	50.7

騒音発生源		発生源の 高さ (m) (GLから)	基準値表における		騒音予測時間帯 (時～時) 又は 騒音発生回数	Y					YA					
			騒音レベル (dB)			根拠	Y測地点での 距離[m]					各Y測地点における 騒音レベル【dB】				
							A	B	C	D	E	A	B	C	D	E
衝突騒音	台直段第01	0.5	83.0	騒音予測	15台	84.6	89.2	37.9	62.1	23.1	44.5	44.5	46.4	47.1	54.7	
衝突騒音	台直段第02	0.5	83.0	騒音予測	13台	118.2	120.0	43.0	28.8	58.7	41.5	41.4	50.3	53.8	47.5	
各Y測地点における 昼間(午前6時～午後10時)の等価騒音レベル					各Y測地点における騒音に例る騒音基準に基づき当該台店地の地域の種類											
A地点(高さ11.2m):43.1dB					第一種中高層住居専用地域		A類型		基準値:55dB							
B地点(高さ11.2m):41.8dB					第一種中高層住居専用地域		A類型		基準値:55dB							
C地点(高さ1.2m):47.8dB					市街地商業地域		C類型		基準値:60dB							
D地点(高さ1.2m):55.0dB					第一種中高層住居専用地域		A類型		基準値:55dB							
E地点(高さ3.9m):54.6dB					第一種中高層住居専用地域		A類型		基準値:55dB							

<評価>

全ての予測地点において毎日の等価騒音レベルは環境基準を満足する値になるため、周辺へ与える騒音の影響は軽微であると推測いたします。

静穏に努めて運用してまいります。近隣の方々より騒音に関するご意見を頂いた場合には、状況を確認し適切に対応いたします。

5. 各騒音源のデータ

5.1 騒音データ

① 定常騒音

表-5 定常騒音源一覧

音源名称	型番	基準距離 騒音レベル[dB]	根拠	区画名称	稼働時間	
冷凍機室外機01	-	59.7	実測値	騒音源及び予測地点配置区	00:00	24:00
ギュービクル01	-	57.0	実測値	騒音源及び予測地点配置区	00:00	24:00
空調機室外機01	-	57.8	実測値	騒音源及び予測地点配置区	09:30	21:30
空調機室外機02	-	57.8	実測値	騒音源及び予測地点配置区	09:30	21:30
空調機室外機03	-	57.8	実測値	騒音源及び予測地点配置区	09:30	21:30
空調機室外機04	-	60.0	実測値	騒音源及び予測地点配置区	06:00	23:30
空調機室外機05	-	57.8	実測値	騒音源及び予測地点配置区	06:00	23:30
空調機室外機06	-	58.0	実測値	騒音源及び予測地点配置区	06:00	23:30
空調機室外機07	-	53.7	実測値	騒音源及び予測地点配置区	09:30	21:30
空調機室外機08	-	57.8	実測値	騒音源及び予測地点配置区	09:30	21:30
空調機室外機09	-	57.8	実測値	騒音源及び予測地点配置区	09:30	21:30
空調機室外機10	-	57.8	実測値	騒音源及び予測地点配置区	09:30	21:30
空調機室外機11	-	57.8	実測値	騒音源及び予測地点配置区	09:30	21:30
排気口01	-	67.5	実測値	騒音源及び予測地点配置区	00:00	24:00
排気口02	-	67.5	実測値	騒音源及び予測地点配置区	00:00	24:00
排気口03	-	63.0	実測値	騒音源及び予測地点配置区	00:00	24:00
排気口04	-	63.0	実測値	騒音源及び予測地点配置区	00:00	24:00
排気口05	-	65.2	実測値	騒音源及び予測地点配置区	00:00	24:00
排気口06	-	67.4	実測値	騒音源及び予測地点配置区	00:00	24:00
排気口07	-	65.2	実測値	騒音源及び予測地点配置区	00:00	24:00
排気口08	-	60.2	実測値	騒音源及び予測地点配置区	00:00	24:00

② その他の騒音源

表-6 パラメータレベル設定の根拠となる騒音レベル【dB(A)】

騒音の名称	基準距離 騒音レベル [0内は $L_{A,max}$]	音源高さ (m)	発生時間	根拠	区画名称
大型車両 後進ブザー	90.0 (100.0)	1.5	時速 5kmで走行	騒音予測の手引き	騒音源及び 予測地点配置区
廃棄物収集作業	90.0 (95.0)	1.5	1台当たり600秒	騒音の手引き (廃棄物圧縮時)	騒音源及び 予測地点配置区
台車平坦走行	71.0 (77.0)	0.0	荷さばき1区あたり 片道5秒×6往復 60秒	騒音の手引き (平坦路走行時)	騒音源及び 予測地点配置区
荷さばき作業	86.1 (85.5)	1.5	荷さばき1区あたり 毎分1回(1秒)×6分ー6秒	騒音の手引き (リフト昇降音)	騒音源及び 予測地点配置区
台車段差減速	83.0 (90.0)	0.0	荷さばき1台当たり 片道1回(1秒)×6往復 12秒	騒音の手引き (段差減速)	騒音源及び 予測地点配置区

※荷さばき車両のアイドリング音についてはアイドリング・ストップを呼びかけ作業員に徹底するため、予測の対象としておりません。

③ 自動車走行騒音

表-7 パワーレベル設定の根拠となる騒音レベル【dB(A)】

騒音の名称	基準距離 騒音レベル	根拠	区画名称								
来客車両走行音	74.0	騒音データとして「大規模小売店舗から発生する騒音予測の手引き」に記載のA等騒音響パワーレベル L_{WA} 約 82dB(自動車工学に基づくパワーレベル式)より引用し、予測される来客車両の台数を駐市場内の全ての走行線に該当させております。 走行速度については 20km/hと設定しました。 基準距離騒音レベル 82.0-8-74.0	騒音区及び 予測地点配置区								
大型車両走行音 ・荷さばき車両 ・廃棄物収集車両	89.1 (中型)	騒音データとして ASJ RTN-Model 2023 の3車種分類の中型車より引用し、予測される走行台数とそれぞれの車両が走行する走行線に該当させております。 走行速度については 10km/hと設定しました。 $L_{WA}=87.1+10\log(10)-97.1$ 基準距離騒音レベル 97.1-8-89.1	騒音区及び 予測地点配置区								
	パワーレベル式の定数項(3車種分類) ASJ RTN-Model 2023 より $L_{WA}=a+b\log_{10}V+C$ ※非定常走行区画より $b=10$ ※Cは補正項であり該当はありません。										
	【aの値】										
	<table><thead><tr><th rowspan="2">3車種分類</th><th>非定常走行区画</th></tr><tr><th>10km/h$\leq V \leq 60$km/h</th></tr></thead><tbody><tr><td>小型車</td><td>81.4</td></tr><tr><td>中型車</td><td>87.1</td></tr><tr><td>大型車</td><td>90.0</td></tr></tbody></table>			3車種分類	非定常走行区画	10km/h $\leq V \leq 60$ km/h	小型車	81.4	中型車	87.1	大型車
3車種分類	非定常走行区画										
	10km/h $\leq V \leq 60$ km/h										
小型車	81.4										
中型車	87.1										
大型車	90.0										

<大型車両走行ルート>

■荷さばき作業 01(昼 5 台)／廃棄物収集作業 01(昼 3 台)

01→...→05→05(後 01)→06(後 02)→06→04→03→02→01

■荷さばき作業 02(昼 3 台)／廃棄物収集作業 02(昼 1 台)

01→...→05→07→08→08(後 03)→09(後 04)→09→07→05→...→01

5.2 騒音予測における来客車両台数の考え方

下記の通り台数を算出し、騒音予測に使用しました。

表-8 来客車両走行台数(台)

来客車両走行 No.	昼間
001～013	306

＜指針の計算式による1日当たりの来台数＞

$$A \times S \times C \div D = (1469.64 \times 1.518 \times 0.3) \div 2 = 335 \text{ 台}$$

＜騒音予測計算における来台数＞

一日当たりの来客台数は上記の式より335台としました。

昼間の台数については、6時～22時までの16時間を駐車場利用時間17.5時間で按分し、306台としました。

$$\text{昼間の来台数} = \text{日来台数} \times (\text{昼間の駐車場利用時間} \div \text{駐車場利用時間}) = 306 \text{ 台}$$

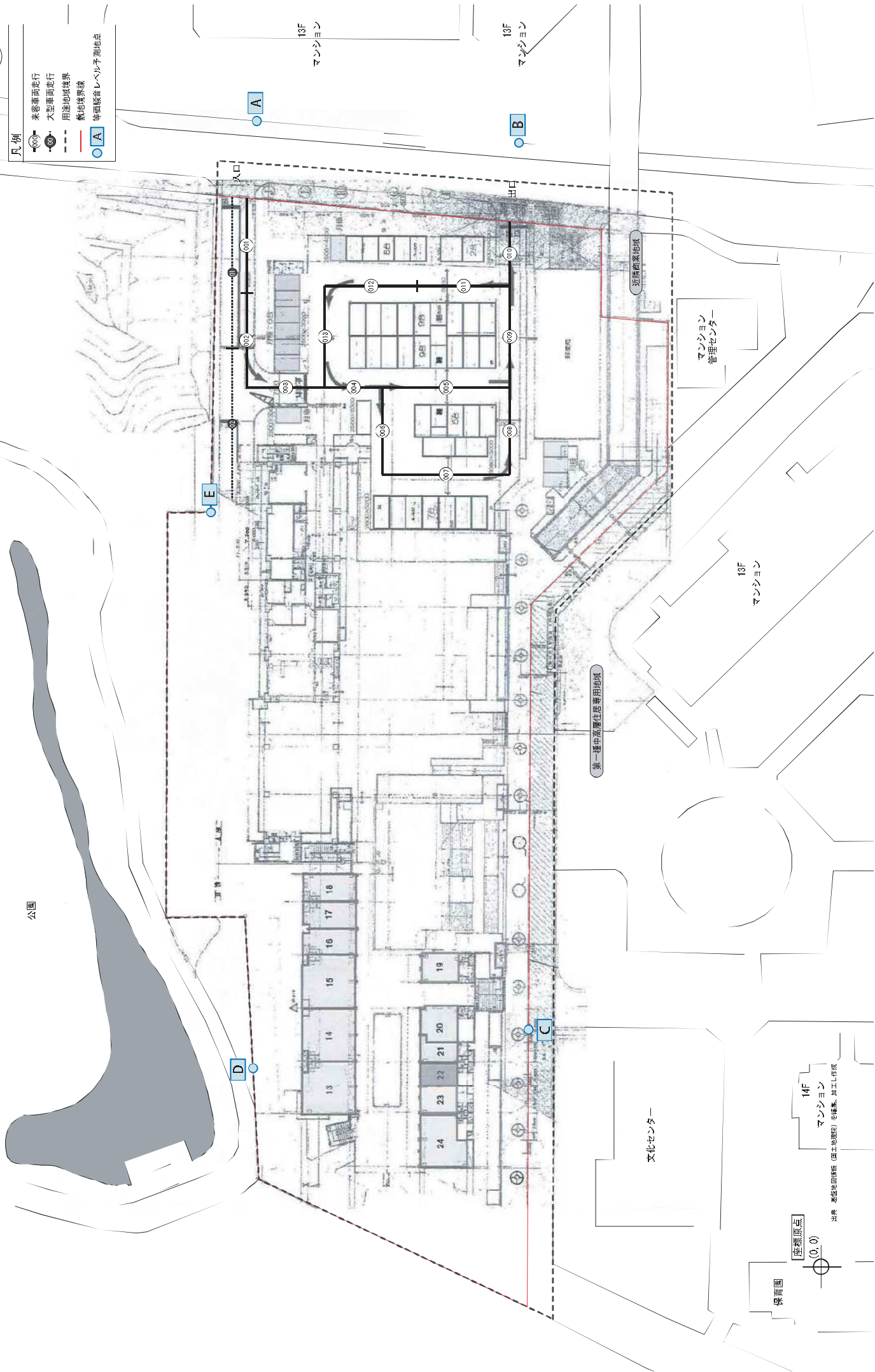
騒音源及び予測地点配置図（1階）

SCALE=1:500



凡例

- 乗客車両走行
- 大型車両走行
- - - 用地地域境界
- 敷地境界線
- A 等価騒音レベル予測地点



図面

座標原点

(0,0)

14F
マンション

出典 差支地同様の（国土利用）を掲載、加工し作成

騒音源及び予測地点配置図（地下1階）

SCALE=1:500



凡例

- 排気口
- 空調機室外機
- 冷凍機室外機
- キュービクル
- 従業員駐車場
- 大型車両走行
- 大型車両走行/後進ブザー
- 用途地域境界
- 敷地境界線
- A 等価騒音レベル予測地点

公園

13F
マンション

13F
マンション

13F
マンション

マンション
管理センター

近隣商業地域

第一種中高層住居専用地域

文化センター

座標原点

(0,0)

14F
マンション

出典 高度加算係数（国土地震院）を基礎、加工し作成

保管図

・指定ばね作業01
・台車並列走行01
・台車降車作業01
・廃棄物取集作業01

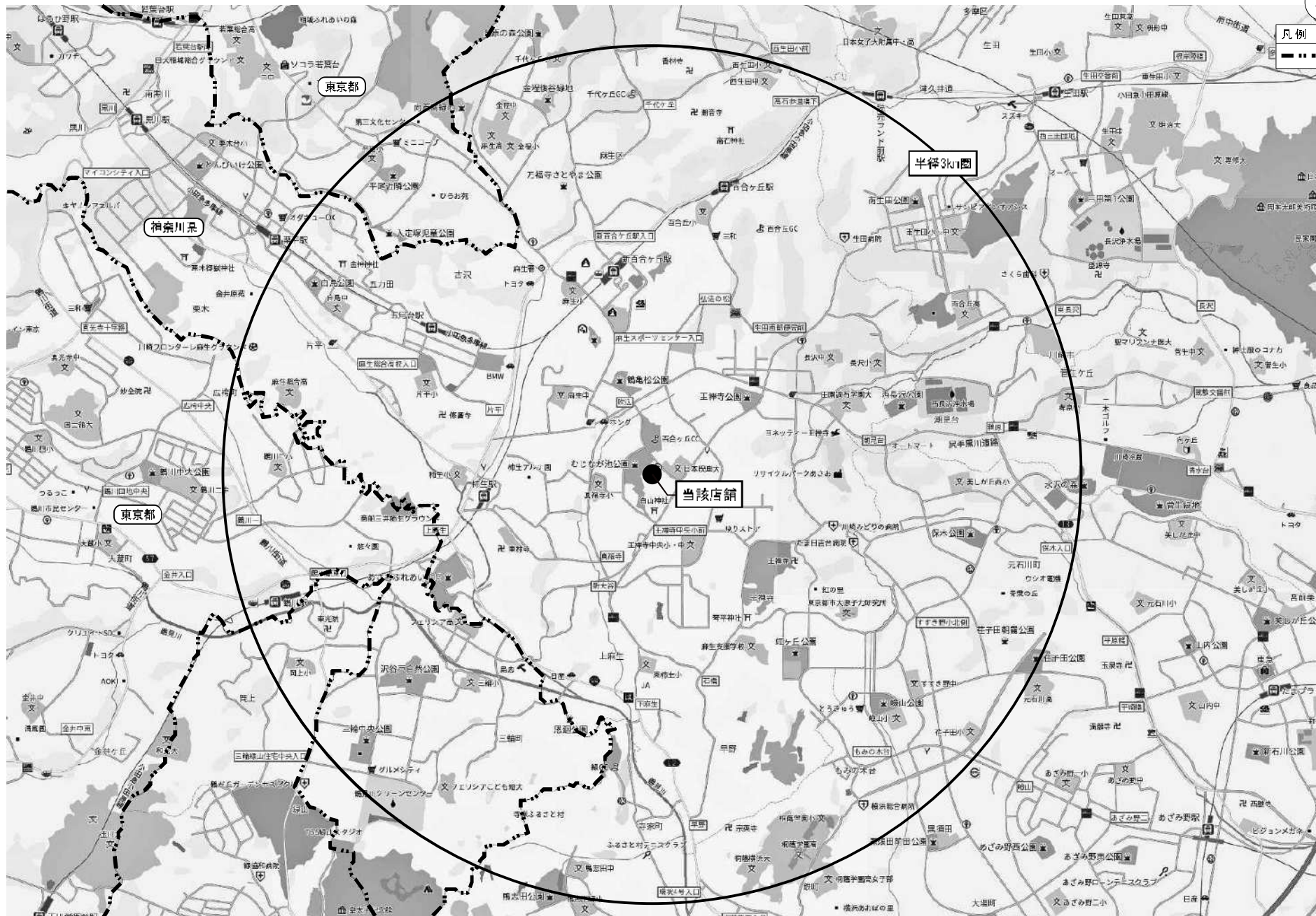
・指定ばね作業02
・台車並列走行02
・台車降車作業02
・廃棄物取集作業02

図面1 広域見取図

SCALE=1:25,000



凡例
 県境



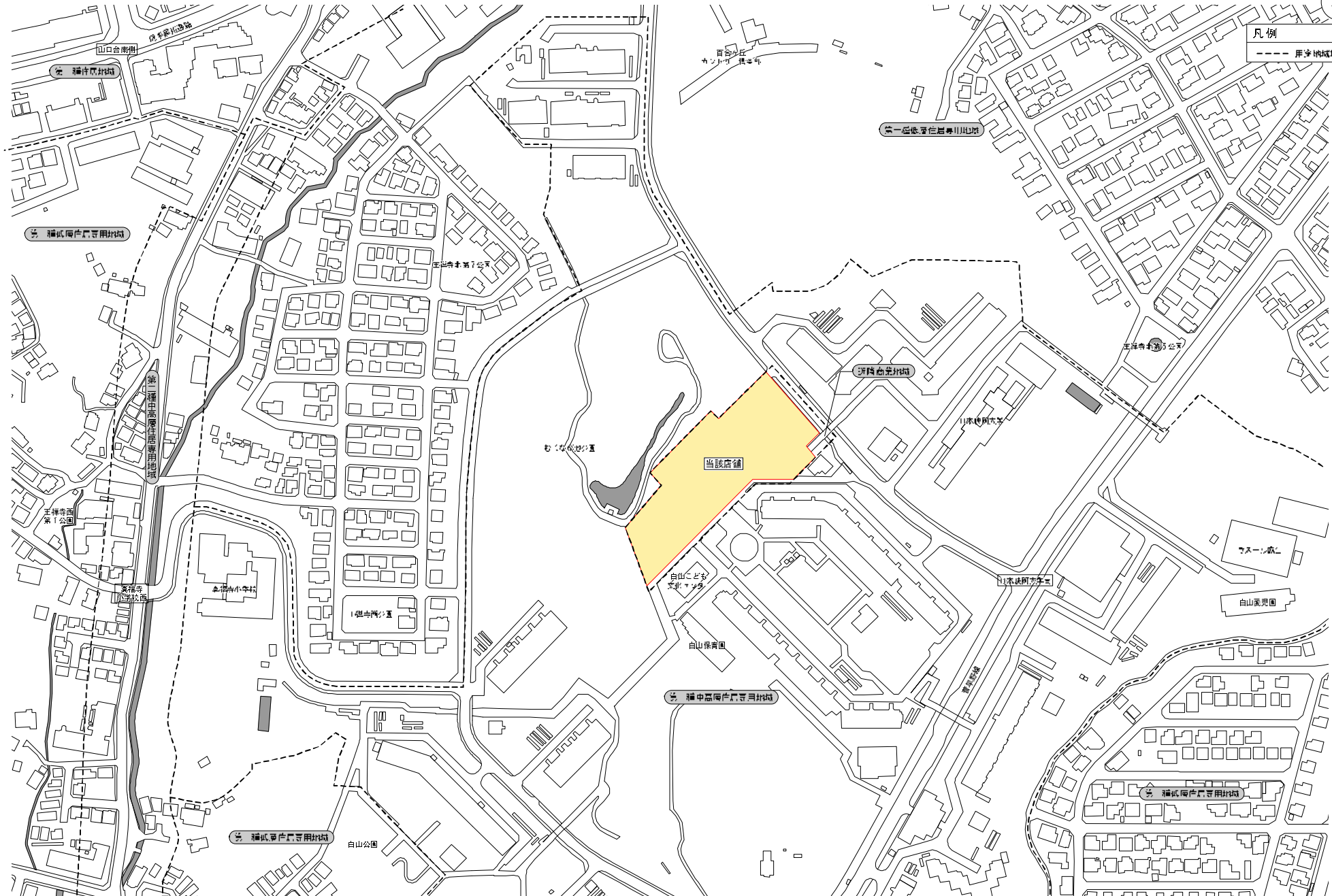
図面2 周辺見取図

SCALE=1:2,500



凡例

----- 用途地域境界

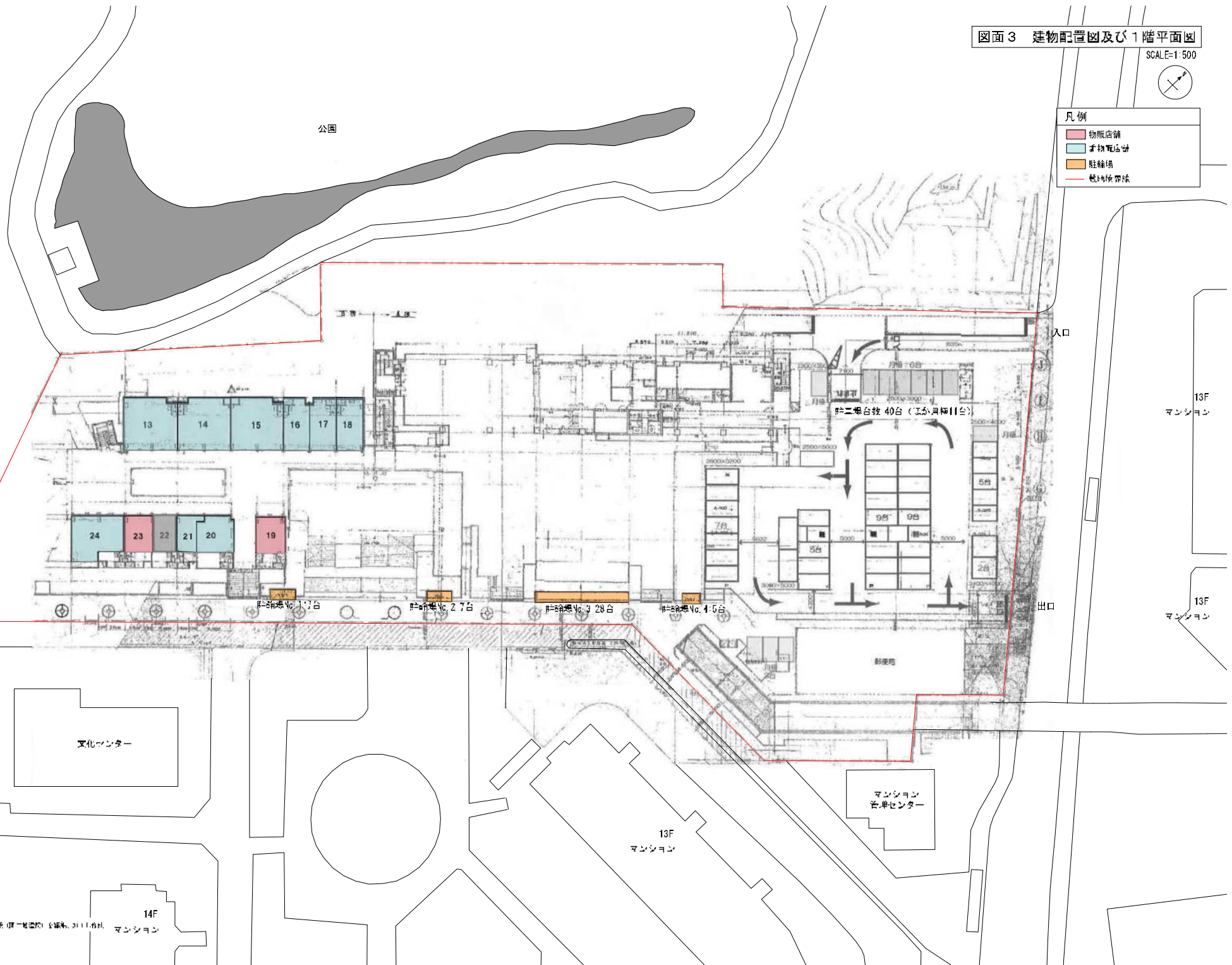


図面3 建物配置図及び1階平面図

SCALE=1:500



- 凡例
- 物販店舗
 - 事務所
 - 駐輪場
 - 敷地境界線



図面4 地下1階平面図

SCALE=1:500



凡例	
	物販店舗
	す物販店舗
	荷さばき施設
No. 1: 25.1㎡	
No. 2: 23.1㎡	
計 48.1㎡	
	商業物販施設
No. 1: 13.13㎡	
No. 2: 10.50㎡	
No. 3: 2.835㎡	
No. 4: 5.535㎡	
No. 5: 0.940㎡	
計 32.94㎡	
	駐輪場
	駐車場 3台
	乾内蔵界線

